

南相馬市博物館には、報徳仕法の展示がいろいろあります。博物館へ行って調べてみましょう。



近世のコーナーにあるよ!

市内の小中高校生は無料で見学できるよ!?

県営東ヶ丘公園内にあり、国指定重要無形民俗文化財相馬野馬追祭場地の東に位置しています。

開館時間：午前9時から午後4時45分まで
(最終入館は、午後4時まで)

休館日：毎週月曜日及び12月29日～1月3日
(月曜日が国民の祝日に関する法律の規定する休日の場合はその翌日の休日でない日が休館日)

観覧料：一般 300円(250円)
高校生 200円(150円)
小・中学生 100円(80円)

※企画展開催中は観覧料が異なる場合があります。
※()内は団体料金で20人以上の場合です。
※障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)。
※市内に居住・通学する小中高生は無料です。
※飯館村の小中高生も無料です。

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194 TEL0244(23)6421 FAX0244(24)6933
[URL] <http://www.city.minamisoma.lg.jp>
[e-mail] hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp



家老池田胤直から金次郎(尊徳)への礼状

展示テーマ

天明の飢饉と村おこし

天明のききんに関して、天明の飢饉之図(写真パネル)・天明救荒録(複製)、非常食であった餓死団の俵があります。また、ききんにより荒廃した農村の復興策として「報徳仕法」と「浄土真宗移民」を紹介しています。

「報徳仕法」のコーナーでは、尊徳の坐像と高慶の坐像(複製)、120年間の藩の人口と年貢の量が書かれた邦本篇、家老池田胤直からの金次郎(尊徳)へのお礼状、そして褒美として農民に与えられた鍬と褒美の内容を書いた褒美状、仕法建ての家模型(写真パネル)を展示しています。



二宮尊徳坐像



富田高慶坐像(複製)



報徳仕法展示部分



博物館には何があるの？—相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵—

そうましれきし しりょうしゅうぞうかん きょうどくら
相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵



相馬市内の歴史資料を収蔵・展示する「相馬市歴史資料収蔵館」と、地域の民俗資料を保存・展示する「郷土蔵」は平成26年7月26日にオープンし、両施設は、平成25年10月に開館した相馬市民会館の東側に位置し、市民会館同様の和風デザインです。歴史資料収蔵館には原始時代から近世までの相馬市の歴史資料が、郷土蔵には農具などの民俗資料が展示されています。

開館時間：午前9時～午後4時
 休館日：毎週月曜日（月曜日が休日の時は次の平日）・年末年始
 観覧料：一般・大学生 100円（50円）
 小・中・高校生 50円（25円）
 ※（ ）内は団体料金で20人以上の場合です。
 〒976-0042
 福島県相馬市中村字北町51-1
 TEL0244(37)2191 FAX0244(32)1616
 [URL] <http://www.city.soma.fukushima.jp>
 [e-mail] sy-syogai@city.soma.fukushima.jp



小学校で勉強した「^{にのみやそんとく}二宮尊徳・^{とみたこうけい}富田高慶・^{ほうとくしほう}報徳仕法について」書いてみましょう。

「^{ほうとくおし}報徳の教え」ってどんなことを教えているの？

「^{しせい}至誠」……

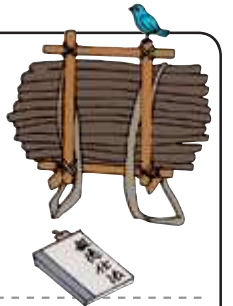
「^{きんろう}勤労」……

「^{ぶんど}分度」……

「^{すいじょう}推譲」……

「^{いちえんゆうごう}一元融合」……

「^{せきしょうだい}積小為大」……



「^{ほうとくしほう}報徳仕法とはどんなこと？」

「^{とみたこうけい}富田高慶は、どうして^{にのみやそんとく}二宮尊徳に弟子入りしたのでしょうか？」

「^{みな}みんなの身近にある、^{ほうとくしほう}報徳仕法によって作られた「^{ため池}ため池・^堤堤・^{水路}水路」について、調べてみましょう」